



東海道五十三次

三島 みしま

箱根峠を過ぎれば、風景は一変して明るくなる。長びいたらたら坂を下りれば、三島大社で名高。三島の宿である。三島に落けて流れる高土の湯水は町を潤すだけでなく、工師の

名物
三島層、蒲餅、
三島餅、椿

三島宿は箱根越え三島大社の参詣客を迎えてにぎわった宿場である。三島大社は伊豆國の宮で源頼朝が源氏再興の祈願をしたことでも知られている。本陣跡、問屋場跡などのある宿場の中心にはいま繁華街になぞるがど

こか古がた家風気がある。三島大社の由緒と堀の水とあいまで、土曲な家風気をかもした町である。

